



平成 29 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 壺 番 屋
代表者の役職名 代表取締役社長 浜 島 俊 哉
(コード番号 7630 東証第 1 部・名証第 1 部)
(問い合わせ先) 常務取締役コーポレート本部長 阪口裕司
T E L 0586-81-0792

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 29 年 2 月 28 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は平成 29 年 5 月 26 日に開催予定の第 35 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 28 年 7 月 6 日)	前期実績 (平成 28 年 5 月期)
基準日	平成 29 年 2 月 28 日	同左	平成 28 年 5 月 31 日
1 株当たり配当金	17 円 50 銭	同左	80 円
配当金総額	558 百万円	—	1,277 百万円
効力発生日	平成 29 年 5 月 29 日	—	平成 28 年 8 月 26 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(※) 平成 28 年 6 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。
平成 28 年 5 月期の配当は当該分割前の実際の配当額を記載しております。

2. 理由

当社の株主の皆様に対する利益配分に関する基本方針は、業績の動向および内部留保金の水準に留意しつつ、持続的な配当成長を志向することを基本としております。

この方針に基づき、平成 29 年 2 月期の 1 株当たり配当金につきましては、当期の業績も堅調に推移し、財務基盤の強化も一段と進みましましたことなどから、平成 28 年 7 月 6 日に発表いたしました配当予想のとおり、期末配当を 17 円 50 銭とさせていただくことといたしました。これにより、中間配当 35 円を加えました年間配当は、1 株当たり 52 円 50 銭となります。

なお、平成 29 年 2 月期は 9 か月間の変則決算であり、同期の 1 株当たり配当金を 12 か月分に換算すると 70 円となります。従いまして、株式分割を加味した前期実績の 65 円に対しては 5 円の実質増配となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	年間
当期 (平成 29 年 2 月期)	35 円	17 円 50 銭	52 円 50 銭
前期 (平成 28 年 5 月期)	50 円	80 円	130 円

(※) 平成 28 年 6 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。
平成 28 年 5 月期の配当は当該分割前の実際の配当額を記載しております。

以上